

## 第1日 名詞

### A

#### 【解答】

1. ② 2. ③ 3. ③ 4. ③ 5. ②

#### 【解説】

1. 「私がこのレポートを書いたとき、先生は私に多くの良いアドバイスをくださった。」  
▶adviceは複数形にできない名詞で、a piece of, two pieces ofなどをつけて言う。
2. 「学校や大学は、次の世代を教育するから、将来に強い影響を与える。」  
▶have an influence on ~ (～に影響を与える)
3. 「ビル、お願いだから台所を掃除しておいてね。」  
▶do me a favor (お願いする, お願いがある)
4. 「毎日散歩することが彼の健康に好結果をもたらした。」  
▶have an effect on ~ (～に影響 / 結果を及ぼす) 2. 参照。
5. 「その町の中心地はいつも交通量が多い。」  
▶there is heavy [much / light / little] traffic と使う。

### B

#### 【解答】

1. ability 2. good  
3. far 4. singer  
5. terms

#### 【解説】

1. 「彼は有能な男だ。」  
▶of ability は of + 抽象名詞 = 形容詞の例。
2. 「私はこの本を読んで大変為になった。」  
▶with profit (利益を得て, 為になって), do me good (私の為になる)
3. 「私の知る限りではこれが唯一の事例です。」  
▶to (the best of) my knowledge = as far as I know (私の知る限りでは)
4. 「彼は歌が上手だ。」  
▶他の例としては, speak well = be a good speaker, play tennis well = be a good player of tennis などのように言える。

5. 「ジェーンはうちの娘たちと大変仲良しです。」  
▶intimate with ~ (～と親しい仲で) = on good terms with ~ cf. on bad [equal, good, speaking, visiting] terms (with ... ) ((…と) 仲の悪い [対等の, 仲の良い, 言葉を交わす程度の, 行き来する] 間柄で)

### C

#### 【解答】

1. He has made a great contribution to developments in nuclear physics.  
2. The teacher gives us a lot of [much] homework.  
3. You should make allowance for his inexperience.  
4. That house has changed hands several times so far.  
5. The care with which he did the work surprised me.

#### 【解説】

1. 「彼は核物理学の発展に大いに貢献した。」  
▶contribute to ~ = make a contribution to ~ (～に貢献する, 寄与する) greatly を形容詞にして名詞 contribution の前に置く。
2. 「その先生は私たちに多くの宿題を課す。」  
▶homework は数えられない名詞で, much または a lot of をつけて「多く」を表す。a lot of はすべての名詞につけることができる便利なものである。
3. 「あなたは彼の不慣れを考慮に入れたほうがいい。」  
▶allow for ~ = make allowance for ~ (～を考慮に入れる, 酌量する)
4. 「その家はこれまで何回か持ち主が変わった。」  
▶change hands (持ち主が変わる) several を several times に変えて表現する。
5. 「彼がその仕事を注意深くやったことに私は驚いた。」  
▶carefully = with care と言い換えられるので, care を先行詞とするときには with which として carefully の意味を出す。これは最も難しい使い方の一つである。

## 第2日 代名詞

### A

#### 【解答】

1. yourself 2. his 3. others  
4. either 5. its 6. other  
7. none 8. hers 9. me  
10. It

#### 【解説】

1. 「あなたは階段を落ちたときに怪我をしたのですか。」  
▶hurt oneself = get hurt (怪我をする) 自分自身を目的語にする言い方。cf. drown oneself in drink (酒におぼれる)
2. 「ジョンは友達が多くないが、トムは親友の一人です。」  
▶a (形容詞) friend of mine の言い方。
3. 「私たちはかつては犬を飼っていました。一つは白く他はみんな茶色でした。」  
▶the others (他のみんな) 6. 参照。
4. 「私はジムが二人の女性と話をしているのを見た。その女性のいずれも私は知らなかった。」  
▶二つ (のもの / 人) を否定するときには, neither または not either を使う。
5. 「オランウータンの数は1996年が最高だった。」  
▶population は数えられない名詞で, それを指すときは it を使う。
6. 「蛇口が二つあります。一つは冷水用で、もう一つはお湯用です。」  
▶二つ (のもの / 人) の中の一方を one, 他方を the other という。3. 参照。
7. 「その問題はあまりにも難しくて私たちの誰も解けなかった。」  
▶普通 none は複数扱い, no one は単数扱いをする。
8. 「彼女は間違って私の万年筆を持って行ってしまった。自分のものだと思ったんだ。」  
▶hers = her pen 英語は名詞 pen が同じ文で2回使われることを避け, 代わりに hers を使う。

9. 「ここだけの話だが、私は彼を少しも信用していない。」  
▶between you and me and the lamppost = between you and me = between ourselves (ここだけの話だが, 内密に)
- ▶not ~ an inch (少しも～ない)
10. 「たまたま彼はその日会議を欠席していた。」  
▶It (so) chanced [happened] that ~ (たまたま～だった)

### B

#### 【解答】

1. one → another  
2. him → himself  
3. you → yours  
4. There → It  
5. him → himself  
6. No → No other  
7. Any → Some  
8. oneself → themselves  
9. His red that car → That red car of his  
10. no → none

#### 【解説】

1. 「もし僕が馬鹿なら、君もそうだ。」  
▶another (同じようなもの) You are another という文を覚えればよい。
2. 「彼はあまりにも疲れていたの、ソファーに横になった。」  
▶自分自身を目的語にするので oneself の形を使う。lay oneself = lie (down) A の1. 参照。
3. 「私の収入はあなたの収入より多い。」  
▶同じものを比較するので, yours (= your income) を使う。
4. 「ロサンジェルスまでは遠い。」  
▶距離をいうときは主語を it にする。It is a long way = It is far
5. 「彼はうれしさに我を忘れていた。」  
▶beside oneself with ~ (～で我を忘れて)
6. 「あんな腕白な子を我慢するのは君だけだろう。」  
▶no other ... (名詞) than ~ (～と違った / 以外の…)